

【全校配付】



チーム三村小

中央市立三村小学校
学校だより第10号
令和7年1月9日
校長 雨宮博之

【学校教育目標】『夢をもち 主体的に学ぶ子どもの育成』（「やる気」「やさしさ」「こん気」「げん気」を育む学校）

令和7年もよろしくお願ひいたします

令和6年も幕を閉じ、令和7年が始まりました。令和6年は、元旦の能登半島地震から始まり、様々なことがありました。日本国内でも、総理大臣の交代、新紙幣の発行など、生活に直結するところが刷新されました。闇バイト事件などは、犯罪がすぐ近くに迫っていることを実感しました。冒頭の能登半島地震に加え、様々な災害のニュースも多かったように思います。能登では豪雨による被害もあり、心が痛くなります。8月には南海トラフ地震臨時情報が出され、災害がニュースの世界の中だけのものではないことを思い知らされました。子どもの安全を守り、また、自分の身は自分で守るために何が必要で何をしていかなければならないのか、日ごろから考えるようになったと感じています。

明るいニュースもたくさんありました。その中でもスポーツのニュースが、報道される機会が多かったためか印象に残っています。勝敗やメダルの数よりも、この日のために努力し、全力を出して頑張っている姿に感動を覚えました。

そんな背景の中、本校では子どもたちが元気に活動することができました。ひとえに、日ごろから見守り支えてくださっている保護者の皆様、地域の皆様のおかげです。心より感謝申し上げます。

さて、令和7年はどんな年になるのでしょうか。こここのところため息の出るようなニュースが多く、暗い気持ちになりがちですが、子どもたちのため、そうは言ってもいられません。実際、子どもたちの明るい、元気な姿を見ると、こちらも元気が出て、やる気がわいてきます。例えば、災害に備えて、9月に行うはずだった地域防災訓練を、令和7年は中央市全体で行う予定です。学校・地域・保護者が一体となつて行う防災訓練は全国的に見ても先進的であり、理想的な訓練だということです。災害が起きることは避けられそうにありません。しかし、子どもの命を守るため、災害に強い、災害に負けない学校づくり、地域づくり、街づくりはできるように感じています。

さて、迎えた令和7年。3月には三村小学校の伝統を引き継ぎ、発展させてくれた6年生の卒業を迎えます。4月には新入生も入ってきて、新しいスタートを切ります。新たな旅立ち、新たな出会いが待っていると思うとわくわくします。笑顔の絶えない三村小になってくれることと思います。

本年もよろしくお願ひいたします。

